栢瑚の五行歌折本

よるのうた

暮らしの中で、夜というと時間的なものを思う。
夜の歌を集めてみましょうか、と言ったのは
単なる思いつきではあったけれど
３人の夜の歌が集まったところで感じたのは
決して時間的な夜ではなかった。
きっと誰の中にも、夜という空間や要素が
それぞれの質感、サイズ感で存在している。
そんな気がした。
(J)

栢瑚（かしこ）五行歌部（仮）　https://www.kashiko.co/

2023.2.25 発行　ぺらふぇす 2023 参加作品　@KGogyoka

大きな駅の
灯りも消えて
眠らぬ街へ
君と
夜を壊しにゆく

水源　純

誰も知らない
夜を切りとる
其処で
私を
放し飼いにする

南野薔子

緋袴をはいたまま
彼に逢いに行った
夜
神様は
私の味方だった

白　夜

栢瑚（かしこ）五行歌部（仮）について

五行歌とは、「五行で書く」ことだけがルールの短詩型です。私たちは、1990 年代後半から草壁焰太氏の創立した「五行歌の会」に所属し五行歌を書いてきました。その間、五行歌を知る人、書く人の数は少しずつ増えてきました。それは、この五行歌というかたちに魅力があることのひとつの証しだと思います。もっともっと広く知ってもらえたら。そんな思いで、2019 年秋、栢瑚五行歌部（仮）を立ち上げました。

各種イベント等で、五行歌に関する発信をしています。冊子『栢瑚』は年一回のペースで刊行し、今年で４号目になります。五行歌やエッセイ、栢瑚の活動などを掲載しています。こちらもお手に取って頂けたら幸いです。

栢瑚
KASHIKO
其の四

kashiko.co

夜光虫に
照らされて
釣るのは
海底の
果て

白　夜

夜の海だ
黒い海だ
空との境が
見えない
私だ

水源　純

瑠璃の
夜の
底で
卵形のかなしみを
抱く

南野薔子

足穂に青い栞を
中也に黒い栞を
挟んで
今夜も深い眠りに
落ちてゆく

南野薔子

はじめての事は
すべて
君から
月夜の
約束事

白　夜

影もある
裏側もある
たしかめながら
ぐるり抱く
欠けない月を持っている

水源　純